

2024 年 2 月までの東京都食中毒発生状況（速報値） 2 月 29 日現在

2 月の食中毒速報値は 7 件で患者数は 84 名でした。

なお、1 月の発生状況は、速報値で 11 件、332 名でしたが、現時点で 19 件、569 名となっています。

1 事件数（2 月分までの累計）

26 件（2023 年同期 17 件、2022 年同期 16 件、最近 10 年間の同期 21 件）

2 患者数（2 月分までの累計）

653 名（2023 年同期 204 名、2022 年同期 37 名、最近 10 年間の同期 430 名）

3 死者数（1 月分までの累計）

0 名（2022 年同期 0 名）

4 月別食中毒発生状況

（1）2024 年月別発生状況（速報値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	19	7											26
患者数	569	84											653

（2）2023 年月別発生状況（速報値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	9	8	14	11	12	17	15	9	11	9	11	11	137
患者数	114	90	41	111	40	154	63	25	39	29	49	123	878

（3）2022 年月別発生状況（確定値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	8	8	12	11	7	18	13	5	3	3	10	6	104
患者数	14	23	37	66	17	30	68	10	82	11	97	64	519

（4）最近 10 年間の月別発生状況（2023 年までの平均値）（確定値）

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
件数	10	11	14	10	9	12	11	9	11	11	9	10	126
患者数	197	233	104	161	67	95	59	348	73	74	79	154	1,644

5 病因物質別発生件数

2月の病因物質別の食中毒は、ノロウイルス食中毒5件、アニサキス食中毒が2件でした。ノロウイルス食中毒が全国的に爆発的に発生しています。

都内の発生状況を見ても、1月は19件中11件（58%）、患者数では569名中494名（87%）を占めていますし、2月の速報でも7件中5件（71%）、84名中82名（98%）という結果でした。

		令和6年（2024年）				令和5年（2023年）					
		2/1～2/29		累計(2/29まで)		2/1～2/28		累計(2/28まで)		累計(12/31まで)	
		件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)
ウイルス	ノロウイルス	5	82	16	576	2	84	3	185	16	358
細菌	カンピロバクター			3	8			1	5	29	144
	黄色ブドウ球菌									3	41
	ウエルシュ菌			1	26					4	149
	セレウス菌			1	38					1	7
	サルモネラ									5	59
	腸管出血性大腸菌									1	3
	ボツリヌス菌										
寄生虫	アニサキス	2	2	5	5	6	6	12	12	70	74
	ウエステルマン肺吸虫							1	2	1	2
	クドア・セブテンブクタータ									1	9
化学物質	ヒスタミン									1	2
	次亜塩素酸ナトリウム									2	3
自然毒	植物性自然毒									3	27
	動物性自然毒										
不明											
合計		7	84	26	653	8	90	17	204	137	878

6 原因施設別発生件数

2月の7件の食中毒の原因施設は、一般飲食店4件、要許可集団給食2件、魚介類販売業が1件でした。

		令和6年（2024年）				令和5年（2023年）					
		2/1～2/29		累計(2/29まで)		2/1～2/28		累計(2/28まで)		累計(12/31まで)	
		件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)	件数	患者数 (死者数)
飲食店	一般	4	23	19	396	3	22	7	130	93	623
	仕出し									1	9
	そうざい									1	1
	一般、自動車									1	6
集団給食	要許可	2	60	3	161					3	45
	届出									1	54
魚介類販売業		1	1	1	1			1	1	8	8
飲食店（そうざい）、魚介類販売業								1	1	1	1
そうざい製造業						1	64	1	64	1	64
家庭						1	1	2	2	6	11
臨時出店				1	80						
その他				1	14					3	37
不明				1	1	3	3	5	6	18	19
合計		7	84	26	653	8	90	17	204	137	878

(注)飲食店の「一般」には、一般飲食店、すし屋、弁当屋、そば屋を含む。

7 食中毒のことや発生状況についてもっと知りたい方は

(1) たべもの安全情報館 知って安心～トピックス～(東京都福祉保健局)

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//anshin_topics.html

(2) 東京都の食中毒発生状況

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin//tyuudoku/index.html>

(3) 全国の食中毒発生状況（厚労省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html

8 元食品衛生監視員のつぶやき

例年、3月に厚生労働省の「薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会」が開催され、前年の食中毒の発生状況や特に注目する食中毒事例について専門会による審議が行われています。

今年は、例年よりも早く2月21日にweb会議として開催されました。

議題は以下のとおりで、これにより2023年（令和5年）の全国の食中毒の発生状況の確定値が示されます。

- 令和5年食中毒発生状況
- 和歌山県で発生した弁当によるサルモネラ食中毒事例について
- 山口県で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒事例について
- 八戸市内で製造された弁当による食中毒事例について

興味のある方は、以下のURLから資料等を見ることができます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37557.html

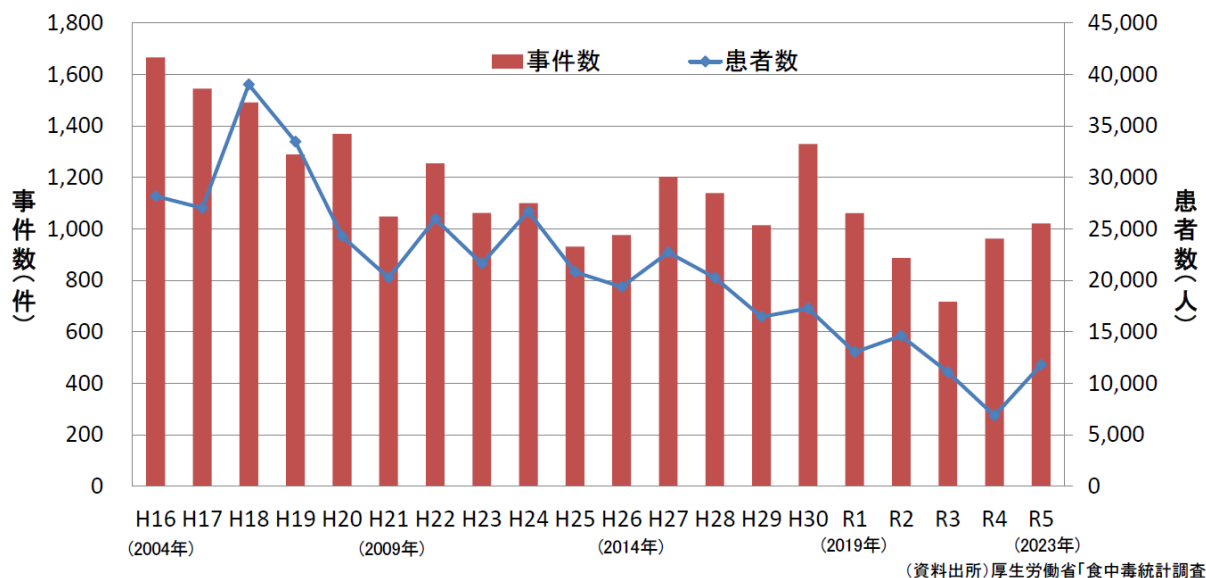
また、おって議事録も公開されると思います。

審議会の資料から、全国の食中毒の発生状況について、何点かコピーを掲載します。

まず、発生件数と患者数です。

食中毒事件数・患者数の推移(全体)

	事件数	患者数	死者数
R3年	717	11,080	2
R4年	962	6,856	5
R5年	1,021	11,803	4



Ministry of Health, Labour and Welfare

(資料出所)厚生労働省「食中毒統計調査」

2

2年続けて千件を下回っていた件数が2023年は千件を上回りました。また、1万人を下回った患者数も1万人を超えてしまいました。

食中毒の減少傾向がここ数年続いていましたが、結局HACCPの制度化による成果ではなくコロナ

による影響であったことが推察される結果となっています。

今年に入ってからノロウイルス食中毒の爆発的な発生状況を見ても、HACCP 制度化前の状況に戻りつつあるように見えます。

次に、500 名以上の患者が出た大規模食中毒と死者が発生した食中毒事例の資料を示します。

患者数500人以上の食中毒事例(令和5年)

	都道府県	発病年月日	原因施設種別	原因食品名	病因物質種別	患者数	死者数	摂食者数	死者年齢
1	石川県	2023/8/11	飲食店	令和5年8月11日～8月17日に当該施設で提供された湧水を使用した食事	細菌 カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	892	0	1,298	-
2	八戸市	2023/9/16	製造所	令和5年9月15日及び16日に当該施設で製造された弁当	その他 (ぶどう球菌及びセレウス菌)	554	0	不明	-

死者が発生した食中毒事例(令和5年)

	都道府県	発病年月日	原因施設種別	原因食品名	病因物質種別	患者数	死者数	摂食者数	死者年齢
1	栃木県	2023/1/19	事業所 給食施設 老人ホーム	令和5年1月17日及び18日に当該施設で提供された食事	ウイルス ロタウイルス	28	1	92	女:70歳～
2	福岡市	2023/6/2	飲食店	鶏肉のトマト煮(施設給食)	細菌 腸管毒素原性大腸菌O159 腸管凝集性大腸菌O86a	19	1	41	女:70歳～
3	和歌山県	2023/8/19	仕出屋	令和5年8月19日及び20日に原因施設で調理提供された料理	細菌 サルモネラ属菌	117	1	384	男:70歳～
4	北海道	2023/10/6	家庭	ドクツルタケ(推定)	自然毒 植物性自然毒	2	1	2	女:70歳～

(資料出所)厚生労働省「食中毒統計調査」



Ministry of Health, Labour and Welfare

4

500 名以上の患者が出たのは、湧水を使用した流しそうめんによる食中毒と、八戸市の駅弁製造者が作成した海鮮弁当による食中毒の 2 件でした。

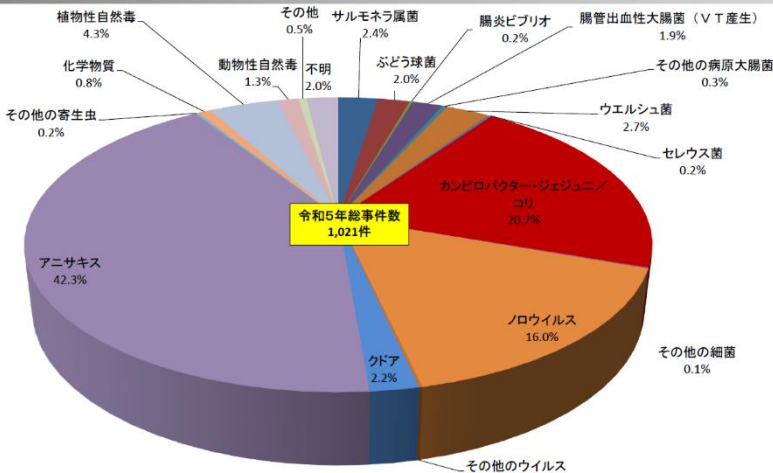
このうち、八戸市の事件は、審議会の別の資料で詳しく報告されていますので、参考にしてください。

死者が出たのは、例年、自然毒による家庭での事例が多いのですが、2023 年は 4 件中 3 件が事業者が原因でした。

病因物質別の発生件数のグラフを示します。

この傾向はほぼ都内の食中毒と同じですが、アニサキス食中毒の患者数はほぼ 1 名ですので、2 名以上の発生件数をみると、アニサ

【全体】病因物質別事件数発生状況(令和5年)



詳細は、資料2(令和5年食中毒発生状況)28ページ参照

(資料出所)厚生労働省「食中毒統計調査」



Ministry of Health, Labour and Welfare

22

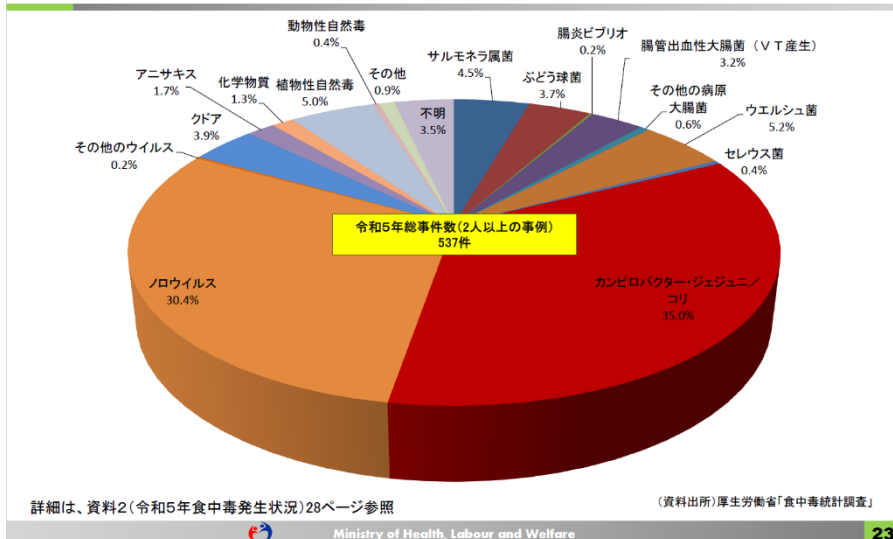
キスの影響がほとんどなくなります。

二つのグラフを見比べるのも興味深いと思います。

さらに、病因物質別患者数のグラフを見ると、ノロウイルス食中毒の寄与度の大きさがわかります。

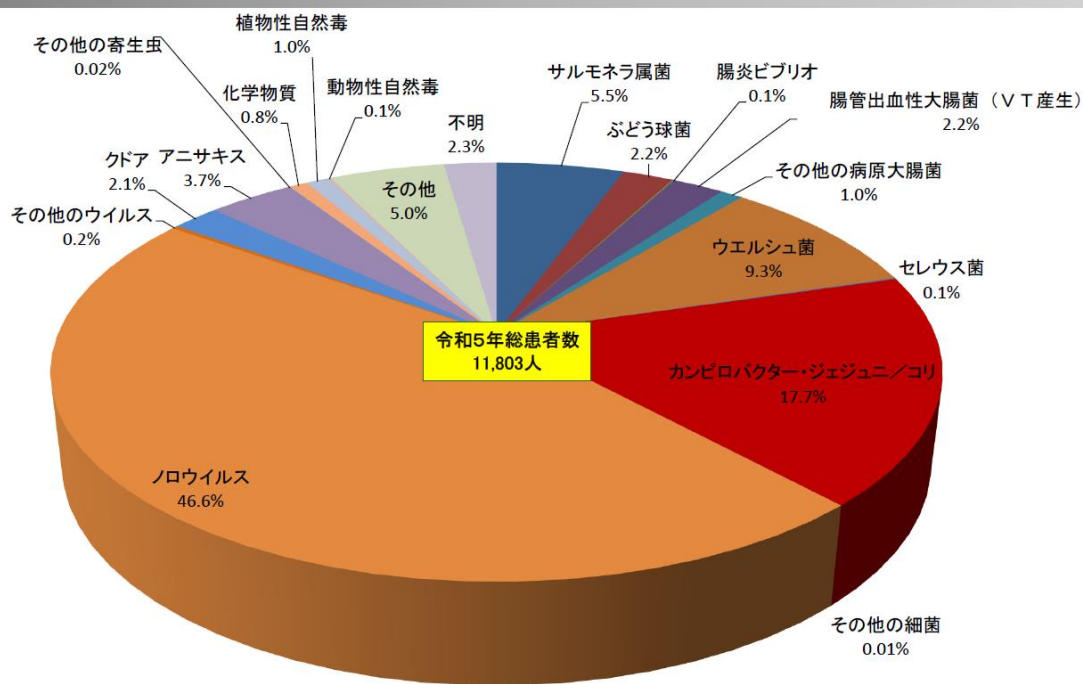
今年の状況はさらに顕著になってくるのではないかと思いますので、特に集団給食施設での衛生管理については、徹底していただきたいと考えます。

【患者数2人以上】病因物質別事件数発生状況(令和5年)



23

【全体】病因物質別患者数発生状況(令和5年)



24